

山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



次の50年に向けて結束呼びかけ

新年互礼会 4年ぶりに鏡開きも行われる

山梨県流通センター新年互礼会が、2025年1月7日(火)、流通会館で開かれ、組合員・準組合員・来賓合わせて約70人が出席した。

冒頭、中込裕理事長は組合の財政状況に触れ「全国の流通団地では、安定した不動産収益により収益確保を行っている組合が多いが、当組合も不動産収益により健全な組合運営が図られている。また組合員には日ごろから組合運営にご協力いただいているが、今年は役員改選時期に当たり、若い世代の力で改革を行い、次の世代にバトンを渡していかなければならない役目を真剣に取り組んでいきたい。次の50年に向けて、安全・安心で最適なる企業立地であることを目指すので、すべての組合員・準組合員の理解と協力を求めると同時に

更なる結束を願いたい」と呼び掛けた。

来賓として出席された、山梨県産業政策部次長 小林洋一氏、中央市長 望月智氏から祝辞をいただいた。祝辞に続いて、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた鏡開きが4年ぶりに行われ、参加者全員で新年を祝い合った。



▲4年ぶりに行われた鏡開き

日医工山梨グループが優勝

ソフトボール大会 6チームが熱戦展開

山梨県流通センターソフトボール大会が2024年11月10日（日）に釜無川スポーツグラウンドで開催された。

開会式は深沢博生専務理事のあいさつで始まり、恒例のラジオ体操を全員で行ってから予定通り試合開始となった。

参加チームは6社、102人で、トーナメントにより各チーム白熱した試合が展開された。

優勝は、2015年以降（コロナウイルス感染防止・雨天中止期間中は除く）4回連続で優勝している日医工山梨グループ、準優勝は甲信食糧(株)、3位は日本連合警備(株)という結果となった。

今後も、スポーツを通じて流通センターで働く方との交流の輪を広げると共に、日頃の運動不足解消を図っていただきたいと思う。

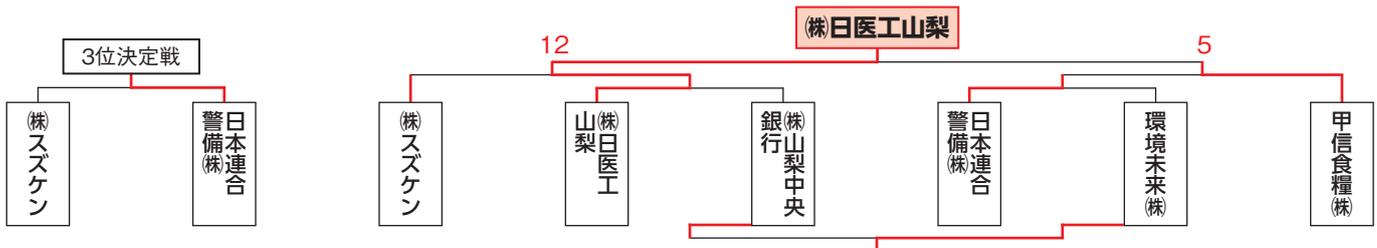


▲優勝した日医工山梨グループ



▲準優勝した甲信食糧(株)

2024年度 協同組合山梨県流通センター ソフトボール大会



第7回総合防災訓練に約60人参加

備蓄燃料給油訓練も実施

第7回総合防災訓練が、2024年11月11日（月）、流通会館北側の中央駐車場で行われた。参加者は、災害対策本部長である中込理事長を筆頭に、BCP対策チーム、組合員、甲府南消防署田富出張所員、県立防災安全センター職員、事務局合わせて約60人となった。

訓練は震度5強の地震が起きたことを想定し、中込本部長による災害対策本部設置及び避難開始のアナウンスがあり、中央駐車場に災害対策本部を設置した。組合員の避難訓練が完了したことをBCP対策チームが中込本部長に報告（人員・被害状況等）後、対策本部より訓練の諸注意を行い、その他の

訓練が始まった。

訓練では、水消火器による初期消火訓練、煙体験ハウスを使用した火災時の移動訓練、県立防災安全センターの地震体験車を使い、震度7までの地震を体感した。その後、場所を(株)吉字屋本店に移動し、組合が災害用備蓄燃料として(株)吉字屋本店敷地内の地下タンクに保管している、2万リットルのガソリンと1万リットルの軽油を災害発生時に活用するための訓練を行った。

最後に、携行缶から車へ安全に給油するための給油方法の説明を受けた。参加者は参加賞の保存食を受け取り、訓練は予定どおり終了した。



▲煙体験ハウスの様子



▲携行缶から車へ給油する参加者

軽スポーツでリフレッシュ

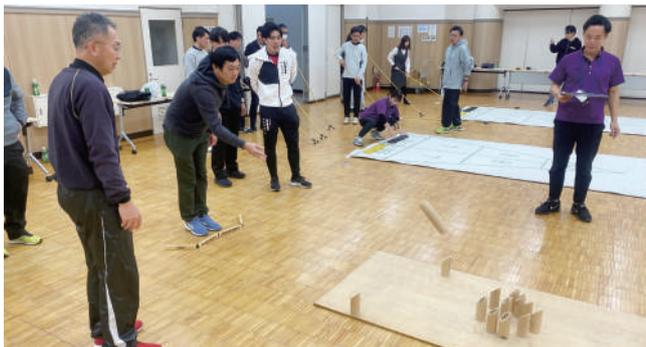
健康運動 セミナー 17人が参加し楽しむ

健康運動セミナーが2024年12月2日（月）に流通会館で開かれ、2社17人が参加した。講師は公益財団法人山梨県スポーツ協会の斎藤芳紀講師と鈴木千春講師にお願いし、軽スポーツの「モルック」と「シャッフルボード」を体験した。

「モルック」とは、木製の棒を投げて、12本あるピンの倒れ方で採点する競技で、「シャッフルボード」

とは、細長いコートの上でディスク（円盤）を得点エリアに向けて押し出し、その得点を競う競技である。

参加者たちは、普段はあまり触れることのない軽スポーツを通して社員同士の交流を深め、活気にあふれたセミナーとなった。



▲軽スポーツを体験する参加者



会社の枠超え会話はずむ

社員交流会 22社から115人が参加

第11回社員交流会（網倉一修実行委員長）が2025年2月7日（金）に流通会館展示場で開かれ、22社115人が参加した。

今回は、「祭り」がテーマとなっており、㈱富士メディカルサービスの焼きそばやたこ焼き、イカ焼き、チョコバナナなどの屋台料理をはじめ、射的やサイコロゲーム、パターゴルフなどのミニゲームがあり、参加者たちは各々楽しみながら和やかに歓談した。

開会前、㈱富士メディカルサービス前田大治郎社長が屋台で実際に焼きそばを調理するパフォーマンスがあり、お祭り独特な“香り”を演出。また、実行委員から「交流会で提供される1パックの焼きそばの重さ」に関する近似値クイズが出題され、参加者たちは実際にパックの焼きそばを持ち上げながら何グラムになるかを話し合い、クイズを楽しむ場面も見られた。

交流会の中盤、実行委員主導によるイベントが行われ、「以心伝心ゲーム」と「ジェスチャーゲーム」を行った。以心伝心ゲームでは、「お祭りの屋台料理といえば？」や「国民的アニメといえば？」などのお題が出され、参加者から様々な答えが飛び出し、笑い声が絶えない楽しい時間となった。ジェスチャーゲームでは、参加者たちは真剣にお題を演じながらも、その姿に笑いが広がり、会場は一層の盛り上がりを見せた。

最後は個人戦として「じゃんけん勝ち抜き大会」を行い、網倉実行委員長とのじゃんけんで、最後まで勝ち残った参加者にJTB旅行券2万円分が贈られ、交流会は盛況に終えた。

後日、近似値クイズの答えを組合HPにて発表し、正解とマイナス1g差の回答をした㈱日医工山梨のY.K氏にA5ランク牛肉が贈られた。



▲ジェスチャーゲームの様子



▲22社115人が参加した交流会

団体は国土防災技術Bが優勝

北ブロックボウリング大会 個人は赤坂英紀さん(株甲府情報システム)が1位

2024年11月29日(金)、ダイトースターレーン双葉において、第14回北ブロック懇談会ボウリング大会が開催された。大会には会員7社21チーム84人が参加し、熱戦が繰り広げられた。

団体の部は国土防災技術Bが2ゲームトータル1,252点で見事優勝し、個人の部は赤坂英紀さん(株甲府情報システム)が2ゲームトータル378点を記録し頂点に立った。

参加者たちは、好スコアを目指して懸命に投球し、仲間同士のハイタッチや声援が飛び交うなど、大いに

盛り上がりを見せた大会となった。



団体の部 (2ゲームトータル)

※敬称略

順位	会社名	メンバー	スコア
優勝	国土防災技術B	樋口、本間、安藤、山本	1,252
準優勝	甲府情報システムA	赤坂、神戸、猪俣、芦沢	1,178
3位	マルモA	神田、穂山、廣瀬、小林	1,159

個人の部 (2ゲームトータル)

※敬称略

順位	氏名	会社名	スコア
優勝	赤坂英紀	(株)甲府情報システム	378
準優勝	河野洋揮	(株)日新厨房企画	352
3位	山本一博	国土防災技術(株)	349

労働関連の法改正などについて学ぶ

定例懇談会 公的支援策利用については早めの準備を

定例懇談会が2025年2月27日(木)に流通会館で開かれ、組合員・準組合員43人が参加した。

最初に、顧問社会保険労務士 雨宮隆浩氏から『最近の労働関連の気になるポイント』について、続いて、(株)山梨中央銀行 コンサルティング営業部 コンサルタント営業室 室長代理 手塚祐司氏から『公的支援策の活用について』の講演が行われた。

雨宮氏からは、4月以降の法改正について特に育児・介護休業法の改正、フリーランス法の改正、雇用継続給付金の改正のポイントを中心に説明をいただいた。

今後は育児だけでなく介護に対しての制度利用が増えるのではないかと指摘。手続きが煩雑な改正で

あるため、働き方改革推進支援センターや労働局に相談することが有効だとされた。

続いて、手塚氏からは、公的支援策である補助金の注意点や活用できる制度について説明をいただいた。補助金を利用することで、事業計画書の作成を通じて“経営課題の把握ができる”ということがメリットだとされた。補助金を申請してから受け取れるまでの期間が長いと、時間に余裕がないと補助金利用の事業には適さないため注意が必要だという。

4月からは新たな補助金制度が豊富なため、ホームページなどを確認してスケジュールを早めに把握し、事前の準備が大切だと説明し、講演を終えられた。



▲講演を聞く参加者たち



▲雨宮隆浩氏



▲手塚祐司氏

フォークリフト運転技能講習

参加者見事合格

後期フォークリフト運転技能講習会が2024年11月16日（土）、17日（日）、23日（土）24日（日）にわたり、湯村自動車学校で開かれ、1社から2人が参加した。

参加者は、真剣な表情でフォークリフトの運転技術を学び、無事合格した。



フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育のお知らせ

事業者はフォークリフト資格取得者に対し、修了後一定期間（概ね5年）経過した方に、安全衛生教育を行うよう努めなければならないとされています。

当組合でも研修を計画しております。今後の機会には是非ご検討ください。

シキシマ醤油株式会社

準組合員紹介 医療や介護の卸としても幅広く食品インフラを担う

会社名 シキシマ醤油株式会社
代表者 武田 元彦
住所 山梨県中央市山之神流通団地3-1-1
TEL 055-273-6844
FAX 055-273-0460

2025年2月25日に、シキシマ醤油(株)代表取締役社長 武田元彦氏に事務局（小林）がインタビューをし、会社の業務内容等をお聴きしました。

—会社の設立について—

100余年にわたり続いているシキシマ醤油(株)の天野社長からお話をいただき、事業を引き継いでくれないかということで、令和5年2月より、武田グループの関連会社として新たにシキシマ醤油(株)を設立致しました。

—貴社の経営理念について—

グループ全体として「食品の供給を通じて社会に貢献する」シキシマ醤油は「食品の供給を通じて、地域の皆様の健康で豊かな生活に貢献する」ということを理念としております。

—貴社の事業内容と取り扱われている商品について—

醤油の販売、医療食、介護食の卸売をしております。創業当初は醤油の販売がメインでしたが、今では病院施設、介護施設の高齢者向けに柔らかいものや栄養が強化されている食品も取り扱っております。

—貴社の自慢したいものやユニークな点は—

社員がまじめでとにかく人柄がよく、社員同士の仲が良いです。社員のモチベーションアップのために今は社内の労働環境の整備に特に力を入れています。

—SDGsで取り組んでいること—

卸売りは受注や発注で紙の扱いが多いので、ペーパーレスに向けて取り組んでいます。他にも少しでも省エネにするためにエアコンを新しくしたり、LEDに変えたりしました。

—流通センターでよく利用している事業は—

ボウリング大会や健康診断、インフルエンザ予防接種などです。



—流通センターにあったらいいと思う事業等は—

銀行が遠くなってしまったので現金を預けられる大きい金庫などがあればいいですね。

食品を扱う他社と大きな冷蔵の倉庫を共有出来ればありがたいです。

—今後の業界はどのようになると予想されますか？—

医療、介護の需要はどんどん大きくなると考えております。特に介護食での宅配の利用が増えると予想しているため、宅配事業やネット事業に力を入れていきたいと思っております。

—今後の目標・取り組んでいきたいことは—

会社としては県内の介護食卸として、トップを目指すというのが目標です。業績を上げ、大きい冷凍庫を新調したいです。

—貴社の魅力をひとことでお願ひします—

グループ全体として、スーパーや小売店向けの食品を扱い、シキシマ醤油(株)では医療や介護、病院施設向け、業務用を扱うなど、全体でかなり幅広い食品をカバーしているという点で、県内の食品インフラを担っていることが魅力です。今後もさらに食品インフラとして機能させていきたいです。

インタビューを終えて、現在力を入れている、介護医療食についての目標などをお聴きすることができました。お忙しいところご協力いただきありがとうございました。

準組合員の加入・脱退

準組合員名	加入・脱退の別	住所
フジトランスポート(株)	加入	中央市山之神流通団地 3-3-1
(株)サニカ	加入	中央市山之神流通団地 2-7-2 及び 2-7-3

『事務局日誌』 ～ 11～2月の主な会議等 ～

◆11月

- 5日 正副理事長会議
- 10日 ソフトボール大会
- 11日 第7回総合防災訓練
- 11日 インフルエンザ予防接種（夕方接種）
- 12日 リサイクル、一斉清掃
- 15日 理事会
- 15日 南ブロック懇談会（16日迄）
- 16日 フォークリフト運転技能講習会（4日間）
- 20日 社員交流会実行委員会
- 21日 LoMAの会
- 29日 北ブロック懇談会ボウリング大会

◆12月

- 2日 健康運動セミナー
- 3日 正副理事長会議
- 5日 北ブロック懇談会
- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 12日 東ブロック懇談会
- 18日 西ブロック懇談会
- 27日 仕事納め

◆1月

- 6日 仕事始め
- 7日 新年互礼会
- 7日 正副理事長会議
- 10日 頭部MRI・MRA、肺CT検査（3/14迄）
- 14日 リサイクル・一斉清掃
- 15日 社員交流会実行委員会
- 22日 次期役員推薦委員会
- 22日 LoMAの会
- 24日 理事会・役員新年会
- 28日 会津若松卸商団地(協)・(協)青森総合卸センター 事務局来訪

◆2月

- 4日 正副理事長会議
- 5日 DX推進委員会
- 5日 社会保険実務講座（26日迄）
- 7日 第11回社員交流会
- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 12日 北部会
- 19日 南部会
- 20日 西部会
- 21日 東部会・東ブロック懇談会
- 27日 2月定例懇談会

かいがね

我が家には10歳になる猫が二匹いる。夫婦二人になって、猫好きの女房が猫を飼っている知合いに子猫が生まれたら譲ってほしいと頼んでいたところ、一匹のつもりだったのが、五匹生まれたから二匹引き受けてほしいと言われ、結局、雄と雌の二匹になったのだ。名前は雄がクリーム、雌がショコラと言う。もちろん、名付け親は女房である。甘いもの好きだからなのだが、酒好きでもある。が、さすがに酒の名前は付けにくかったのだろう。

二匹飼ってみて分かったのだが、猫にも当然だろうが性格の違いがある。もしや知能指数(?)の高低もあるかもしれない。雄のクリームの方は飼い始めの頃から名前を呼ぶと返事をする。人懐っこくて気は優しい。一日に二回はおやつを欲しがり女房がいなときは私にせがむ。時々遊びに来る孫たちの評判もすこぶるいい。ただし人見知りで知らない人なら玄関のチャイムが鳴ったとたん二階に避難する。雌のショコラは呼んでもツンとして知らん顔で気も強い。むしろ猫らしい猫と言える。時々きょうだいゲンカをすると旗色の悪いのは体の大きいクリームの方だ。行動も勝手気ままで自分中心。孫たちが遊びに来て相手もせず機嫌取りなど一切ない。だから人気はまいちである。

以前、女房が野良猫を手懐けて飼い始めたことがあったのだが、家の外に出たら交通事故にあって道端で死んでいたことがあり、そんな訳でクリームとショコラは飼い始めた時から家の外には出さないでいる。そうそう、ここで訂正しなければいけない。彼らを「飼う」と言ったが我が家では同居人に等しい。したがって「飼う」のではなく「同居」であり、否、それ以上に家族の一員である。だから二匹ではなく二人なのだ。

こんなこともあった。二人が2、3歳の頃、女房と2泊3日の旅行に出かけた時のことだ。家族とは言え連れて行くわけにはいかないので、ペットホテルに預けることにした。朝早く出かけて帰りは遅いので4泊5日の間預けて、旅行から帰って二人を迎えに行ったところ、そのホテルの従業員が「猫ちゃん達ずっと鳴いてばかりで食欲もありませんでした」と言う。様子もいつもとは違い何かを恐れるようにオドオドしていて、まるで別の猫のようになっていたのだ。そんなことがあってから二人が気の毒で宿泊の旅行には行けなくなってしまった。

今や老境に入った我々夫婦にとってこの二人は得難い家族であり、無口になりがちな夫婦の会話を取り持ってくれる貴重な存在である。なので、心配事がある。二人が我々夫婦よりも長生きをした場合の事である。家の中だけで生活する猫は20年以上生きると言われていて、その可能性がないとは言えないのだ。長生きはしてほしいのだが我々夫婦が先に逝って二人が孤児になるのはあまりに可哀そう。何とも悩ましい限りだ。(M)